

苦小牧聖ルカ幼稚園 関係者 評価表

評価年月日 2026年1月14日

評価者ご芳名 (古川義則)

評価項目	評価(本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想を自由にご記述ください。)
園長の自己評価について	日々、子どもたちのために働かれていることに感謝します。自己評価の中で、特に研修、業務の効率化、環境問題等について課題を上げられており、あるべき姿を具体化していこうとする姿勢を感じます。同時にチーム員としての自覚、専門職としての客観性、説明能力等について、より向上していくことを希望します。また情報管理についてはB評価がなくなるよう期待します。
教職員の自己評価について	専門職としての人材育成、法令を遵守した働きやすい職場づくり、及び安全管理等、課題は山積みです。特にキリスト教保育理念の具体化をさらに進め、どのような子どもも受け入れていく体制を構築されることを期待します。
保護者のアンケート結果について	職員は保護者から信頼を得ていることがわかります。よりいっそう保護者からの相談は、気持ちよく応じていくと共に、安全管理に十分留意していただければと思います。
<p>本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想がありましたらご記述ください。</p> <p>本園は教会附属幼稚園であるので、キリスト教の価値観、理念をを吸収して保育に実践していただくことを願っています。</p>	

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、ご感想を本園の今後のために有効に活用させていただきます。

苦小牧聖ルカ幼稚園 関係者 評価表

評価年月日 2026年12月17日

評価者ご芳名（ 高橋 賢司 ）

評価項目	評価(本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想を自由にご記述ください。)
園長の自己評価について	<p>・教職員評価と園長自己評価との整合性がとれており、相互理解がかなり進んでいる様子を感じました。同時に「分かっているが、次の一手を模索している段階」なのでは？と感じる内容です。特に、教職員の自己評価にも記載しましたが、研修・人材育成に注力することが必要だと感じます。職員個人の努力に委ねずに組織として学び続ける体制づくりを進めることで、園全体の質的向上が一層期待されると思います。</p>
教職員の自己評価について	<p>・全体として「子どもを中心として保育」が実現されている様子がうかがえました。子どもへの理解や関わりに対して先生方の意識の高さは非常に大きな強みだと感じます。</p> <p>・一方で、教職員の資質向上のために研修参加のローテーションなども必要なのではないかと感じます。教職員アンケート結果では研修について約30%程度が「あまりできていない」と答えているため、園内研修等も含めての取り組みが急務だと思いました。30分～45分の短時間、一度に集合は難しいので同テーマで複数回実施し1人1回以上は参加するなどの工夫を凝らした形での実施が考えられます。前向きに学ぶ意欲を感じる記載もあるため、勿体無く感じました。</p>
保護者のアンケート結果について	<p>・教職員を取り巻く環境がこの数年大きく変化しています。従前の教育スタイルが長らく続いていたため、保護者への理解がなかなか進まないと思いますが、幼稚園からの丁寧な説明を継続して、幼稚園と保護者双方の理解が深まるように進めて欲しいと感じました。</p>
<p>本園の行った自己評価について、上記以外のご意見、ご感想がありましたらご記述ください。</p> <p>アンケート項目が多く、特に保護者は負担感が多いのではないかと感じます。教職員は仕事だから答えますが、ある程度グルーピングした方が答えやすいと思いました。</p>	

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見、ご感想を本園の今後のために有効に活用させていただきます。